

事業費補助金調査票(表)

補助金名	北総東部用水ファームポンド冬期用水基本料補助金
------	-------------------------

担当課	経済部 農政課				
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業
	01	06	01	04	20 - 51
事業名	土地改良区振興事業				
新規・継続の別	継続				
補助・単独の別	市単				
補助の種類	事業				

R5実施計画額	614	千円
R4 予算額	614	千円
R3 決算額	614	千円
R2 決算額	614	千円
R1 決算額	614	千円
H30 決算額	603	千円
H29 決算額	603	千円

事業の趣旨・目的	<p>畑かん営農の推進並びに防火用施設として機能するよう、冬期においてもファームポンドを利用可能としており、電気料金が発生している。</p> <p>農業用水利用の少ない冬期の用水基本料金を補助することにより、冬期の畑地かんがい利用を促進し、地域農業の活性化を図る。</p>	補助対象者	<p>【補助対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北総東部土地改良区 																																
開始年度	平成 19 年度	補助対象経費	<p>【補助対象経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファームポンド電気料金の月額基本料 期間:9月中旬から3月31日まで 																																
根拠法令等	<p>(市)成田市農業振興等補助金交付要領</p> <p>成田市土地改良区等に係る補助金等交付実施基準</p> <p>成田市土地改良区等に係る補助金等取扱い方針</p>	補助率	<p>【補助率】</p> <p>県:50% 地元:50% ※地元負担を全額補助</p> <p>村田工区 100%, 十余三工区 100%</p> <p>吉岡工区 100%</p> <p>大堀山工区及び酒造工区については、受益地が成田市と多古町にまたがっているため、地元負担に対し受益面積の割合をかけている。</p> <p>大堀山工区 71.5%, 酒造工区 26.6%</p>																																
留意事項		補助率	<p>【国県等の補助率】</p> <p>県:50% ※市を経由しない</p> <p>【近隣自治体の補助率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業費を受益面積割で負担 																																
決算内訳	<p style="text-align: center;">令和 3 年度決算額等 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体事業費</td> <td>1,513</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち市補助金</td> <td>614</td> <td>1</td> <td>40.6%</td> </tr> <tr> <td>うち国補助</td> <td>0</td> <td></td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>うち県補助</td> <td>0</td> <td></td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>自己負担</td> <td>899</td> <td></td> <td>59.4%</td> </tr> </tbody> </table>		金額	件数	割合	全体事業費	1,513			うち市補助金	614	1	40.6%	うち国補助	0		0.0%	うち県補助	0		0.0%	自己負担	899		59.4%	成果指標	<p>成果指標: 交付額</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>614</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>614</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>614</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	令和3年度	614	令和2年度	614	令和元年度	614
	金額	件数	割合																																
全体事業費	1,513																																		
うち市補助金	614	1	40.6%																																
うち国補助	0		0.0%																																
うち県補助	0		0.0%																																
自己負担	899		59.4%																																
年度	数値																																		
令和3年度	614																																		
令和2年度	614																																		
令和元年度	614																																		

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興, 雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	成田市総合計画の基本目標に掲げる、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	冬期の畑地かんがい利用が増加することにより、地域農業の活性化を図られ、農業者ニーズに合致する。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	特定財源控除後の補助率は1/2以下である	はい	
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	普通	
明確性	個別の規則が整備されている	いいえ	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	はい	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	はい	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	はい	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	交付額 R1:614千円 R2:614千円 R3:614千円
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	農業者の負担が軽減されることにより冬期の畑地かんがい利用が増加し、地域農業の活性化が図られている。
補助対象外経費	成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でない認められる経費	はい	
最終評価	維持継続		
所見	本市においても農業従事者の減少、高齢化、担い手不足、耕作放棄地の拡大など、農業を取り巻く環境は厳しい状況にある。本事業は、冬期における畑地かんがい利用を促進し、地域農業の活性化と農業経営の安定を図るため、また、地域への防火用水の供給として活用するため、県と関係市町が協調し、冬季のファームポンド電気料金の月額基本料を補助するものであることから、今後も継続して補助事業を実施する。		